



2022年3月10日  
東日本旅客鉄道株式会社

## 東京駅南部東西自由通路の本体工事着手について

JR東日本では、日本の首都東京の顔にふさわしい多彩な魅力と先進の機能をもった駅として、東京駅周辺地区の都市空間整備を進めています。

東京駅周辺の回遊性の高い歩行者ネットワークの強化に向けて東京都及び東海旅客鉄道株式会社とともに検討してきた東京駅南部東西自由通路（以下「自由通路」）について、これまで準備工事等を進めておりましたが、このたび本体工事に着手します。工事期間中は駅をご利用されるお客さまにご迷惑をお掛けしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

### 1 整備の考え方

- ・東京駅の東西地区の交流や連携を強化し、駅周辺の回遊性の高い歩行者ネットワークの形成を図るため、東京駅の南側に丸の内エリアと八重洲エリアをつなぐ自由通路（2017年3月都市計画決定）を整備します。
- ・自由通路は、ゆとりある歩行者空間とするとともに、利用者にとって分かりやすい通路とします。

### 2 自由通路の概要

- ・幅員：8メートル
- ・延長：約290メートル（うち八重洲方の一部は整備済）
- ・階層：地下1階
- ・使用開始：2029年頃

### 3 完成イメージ



本パースはイメージであり、実際とは異なる場合があります。

